

免疫・アレルギーセンター（成人）

診療スタッフ

センター長 谷口正実

診療概要

- 1.自費診療（重症アレルギー患者の専門施設からのコンサルトやセカンドオピニオン、全国の難治例患者へ診療）週1例程度
- 2.保険診療（通常診療）週1回、火曜日午後小児アレルギー科と合同
- 3.院内コンサルト 週1～2例

診療実績

診療件数：重症の成人アレルギー疾患を対象
NSAIDs 不耐症含む薬剤アレルギー55例、重症喘息51例、重症慢性咳嗽35例、アナフィラキシー31例、重症花粉アレルギー21例、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）13例、アレルギー性気管支肺真菌症（ABPM）11例、COVID 後遺症8例など重症で多施設で対応が困難なアレルギー疾患を対象ほぼすべての例において確定診断と原因・病態把握の後に最善の治療法を提供した。

【教育】

- 1.湘南鎌倉医療大学の講義（1年生1コマ、2年生2コマ、いずれも呼吸器内科）
順天堂大学連携大学院教授として医学博士取得論文指導2名
- 2.ガイドライン・診療の手引きの作成委員（2021年4月～2022年3月発行分）
- 3.喘息予防・管理ガイドライン2021 協和企画 2021年10月発刊 東京
- 4.重篤副作用疾患別対応マニュアル：非ステロイド性抗炎症薬による喘息発作（アスピリン喘息、解熱鎮痛薬喘息、アスピリン不耐喘息、NSAIDs 過敏喘息）厚生労働省 2021年10月改定版
<https://www.mhlw.go.jp/content/11121000/000842927.pdf>

【論文発表】（2021年4月～2022年3月発行分）

PubMed 検索 8 件、

1. Asano K, Hebisawa A, Taniguchi M, et al. J Allergy Clin Immunol. 2021 Apr;147(4):1261-1268.e5. doi:10.1016/j.jaci.2020.08.029. Epub 2020 Sep 10. PMID: 32920094.
2. Fukuchi M, Kamide Y, Taniguchi M. et al. Eosinophil ETosis-Mediated Release of Galectin-10 in Eosinophilic Granulomatosis With Polyangiitis. Arthritis Rheumatol. 2021 Sep;73(9):1683-1693. doi:10.1002/art.41727. Epub 2021 Aug 11. PMID: 33750029; PMCID: PMC8403105.
3. Hashimoto T, Ueki S, Taniguchi M, et al. Increased Circulating Cell-Free DNA in Eosinophilic Granulomatosis With Polyangiitis: Implications for Eosinophil Extracellular Traps and Immunothrombosis. Front Immunol. 2022 Jan 12;12:801897. doi: 10.3389/fimmu.2021.801897. PMID: 35095884; PMCID: PMC8790570.
4. Nagayama K, Watai K, Taniguchi M. et al. Association between the severity of chronic spontaneous urticaria and sleep-disordered breathing. Allergol Int. 2022 Jan;71(1):103-108. doi:10.1016/j.alit.2021.08.001. Epub 2021 Sep 10. PMID: 34511312.
5. Tanaka J, Fukutomi Y, Taniguchi M, et al. Prevalence of inhaled allergen-specific IgE antibody positivity in the healthy Japanese population. Allergol Int. 2022 Jan;71(1):117-124. doi: 10.1016/j.alit.2021.08.009. Epub 2021 Sep 1. PMID: 34481729.
6. Nakamura Y, Fukutomi Y, Taniguchi M. et al. Low-dose mepolizumab is effective as an add-on therapy for treating long-lasting peripheral neuropathy in patients with eosinophilic granulomatosis with polyangiitis. Mod Rheumatol. 2022 Feb 28;32(2):387-395. doi:

免疫・アレルギーセンター（成人）

10.1093/mr/roab005. PMID: 34910206.

7.Sato S, Yanagida N, Taniguchi M, et al. [CURRENT SITUATION OF ANAPHYLAXIS IN

JAPAN: DATA FROM THE ANAPHYLAXIS REGISTRY OF TRAINING AND TEACHING FACILITIES CERTIFIED BY THE JAPANESE SOCIETY OF ALLERGY]. Arerugi.

2022;71(2):120-129. Japanese. doi:

10.15036/arerugi.71.120. PMID: 35296602.

8.Taniguchi M. [GUIDELINE FOR ALLERGIC BRONCHOPULMONARY MYCOSIS]. Arerugi.

2021;70(4):274-281. Japanese. doi:

10.15036/arerugi.70.274. PMID: 34135249.

【国内商業誌】（2021年4月～2022年3月発行分）

1.谷口正実、変貌した成人喘息の病態と新たに生じた課題（巻頭言）,アレルギーの臨床, 2021;41(6)465

2.谷口正実、上出庸介、渡井健太郎他、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）の病態と新規治療、呼吸器内科、2021,40(3):243-250

3.その他、数編

【学会発表・司会】

1.2021年6月5日 日本アレルギー学会第5回総合アレルギー講習会

教育セミナー（日本アレルギー学会主催、サーモフィッシャー社共催）ABPA uodate 司会

2.2021年10月9日 第70回日本アレルギー学会学術大会 教育セミナー15

講演：EGPAにおける診断と治療法の進歩

3.2021年12月4日 The 30th Congress of Interasma Japan/North Asia

Luncheon Seminar 2 Chair

その他の活動

【招待講演】（すべて谷口正実のみが講師、または一部司会、2021年4月～2022年3月開催）

1.2021年4月15日 静岡EGPAセミナー～EGPAの病態と臨床実態を探る～

講演：EGPA ー診断と治療法における進歩ー（Web講演）

2.2021年4月27日 川崎EGPA Update WEB Seminar

講演：EGPA ー診断と治療法における進歩ー（Web講演）

3.2021年5月28日 Sanofi Type2 Forum in Kanagawa（Web講演会における座長）

4.2021年6月2日 神奈川県立循環器呼吸器病センター講堂（Web講演）

EGPA Management Seminar～EGPAの病態と臨床実態を探る～

講演：EGPA ー診断と治療法における進歩ー（Web講演）

5.2021年6月12日 デュピクセント発売2周年全国講演会（Web講演）東京

講演：副鼻腔炎合併重症喘息の病態と治療

6.2021年6月13日 ヌーカラEGPA適応追加3周年記念講演会 in Tokyo（Web講演）

講演：EGPA ー診断と治療法における進歩ー

7.2021年6月15日 Think Allergy in CHIBA（Web講演会）千葉市

講演：重症喘息の病態と治療ーアスピリン喘息を中心にー

8.2021年6月24日 第13回相模原アレルギー性疾患研究会（Web講演会）

講演：アスピリン喘息の臨床ー過去、現在、未来ー

9.2021年7月2日 Web Scientific Exchange Meeting in Eastern Japan 2021(Web講演司会)

10.2021年7月6日 Severe Asthma Seminar in 西三河（Web講演会）岡崎市

講演：成人喘息の治療と管理 -beyond the guidelines-

11.2021年7月29日 熊本EGPA Seminar～EGPA

免疫・アレルギーセンター（成人）

の病態と臨床実態を探る～（Web 講演）

講演：EGPA ー診断と治療法における進歩ー
12.2021年8月7日 第15回相模原臨床アレルギー
セミナー共催セミナー（Web 配信）

講演：EGPAにおける診断の問題点と治療法の進
歩

13.2021年8月7日 第15回相模原臨床アレルギー
セミナー（Web 配信）

講演：N-ERD（NSAIDs 過敏喘息 AERD）ベーシッ
クコースー基本的知識と基本的な対応ー

14.2021年8月7日 第15回相模原臨床アレルギー
セミナー（Web 配信）

講演：N-ERD（NSAIDs 過敏喘息 AERD）アドバン
スドコースーより深い理解と非典型例や難治例への
対応ー

15.2021年9月10日 Kanagawa One Airway Meeting
（WEB 講演会）司会

16.2021年9月15日 第67回 東海喘息研究会 名
古屋市（Web 講演会）

講演：鼻茸合併喘息、特にアスピリン喘息と
EGPAについて

17.2021年9月16日 第3回 T-SARF(Tama Severe
Asthma Research Forum)Web 講演

講演：副鼻腔炎合併喘息の病態と治療

18.2021年10月7日 EGPA Seminar in 石川（Web
講演会）

講演：EGPA ー診断と治療法における進歩ー

19.2021年10月20日 SCIENTIFIC EXCHANGE
MEETING in Osaka 2021（Web 講演会）

講演：併存症により最難治化する喘息病態 ～
N-ERD、SAFS、EGPA～

20.2021年11月5日 多摩・相模原呼吸器疾患セミナ
ー 2021（Web 講演会）

講演：成人喘息の管理と治療

21.2021年11月10日 重症喘息フォーラム in 愛知
（Web 講演会）

講演：成人喘息の治療と管理-beyond the

guidelines-

22.2021年11月11日 One Air way One Disease
Seminar in Kanagawa（Web 講演会の司会）

23.2021年11月29日 Airway meeting Region 神奈
川（Web 講演会の司会）

24.2021年12月1日 Airway meeting Region 東日本
講演：長期予後を見据えた成人喘息の管理と治療

25.2021年12月8日 Scientific Exchange Meeting in
Nagoya（Web 講演）

講演：難治性喘息の病態と治療

26.2021年12月17日 湘南喘息治療フォーラム
（Web 講演）

講演：成人喘息の臨床 –beyond the guidelines、
診断・原因同定を中心にー

27.2022年2月18日 第1回厚労省アレルギー疾患
拠点病院会議 Web 講演会

講演：成人喘息の診断と病態に応じた最適な治療

28.2022年2月22日 Severe Asthma Web Seminar
（神奈川 Web 講演会）

講演：重症喘息の診断と治療

29.2022年3月9日 Scientific Exchange Meeting
from Kanagawa 2022（Web 講演会の司会）

30.2022年3月10日 EGPA Management Seminar in
姫路（Web 講演会）

講演：EGPA ー診断と治療法における進歩ー

31.2022年3月26日 EGPA Advanced Management
Forum 2022 March 東京

講演：EGPAにおける診断と治療の進歩ー長期予
後を踏まえて治療のゴールを考える

32.2021年9月から Web 配信開始 サーモフィッシャ
ー社

Web 配信：アレルギー性気管支肺アスペルギルス
症の新しい診断補助マーカーーイムノキャップ アレ
ルゲンコンポーネント m218 Asp f 1ー

【当科主催の講演会】

2022年3月17日 第1回 湘南鎌倉アレルギーセミ
ナー 湘南鎌倉総合病院 講堂

免疫・アレルギーセンター（成人）

基調講演と司会担当

【メディア】

1.2021年5月18日 毎日新聞夕刊 喘息リスク解明
九州大学の記事のコメント担当

2.2021年11月公開 環境再生保全機構発行 Web版
すこやかライフ HP：肥満によるぜん息の発症・悪化
の危険性を、しっかり理解しておきましょう(全2回)

https://www.erca.go.jp/yobou/zensoku/sukoyaka/column/202112_1/

https://www.erca.go.jp/yobou/zensoku/sukoyaka/column/202204_2/

展望/抱負

2020年1月から、免疫・アレルギーセンター長として成人アレルギーを専門とする谷口正実が赴任いたしました。前職として、アレルギー疾患の国の中心拠点病院でありアレルギーの準ナショナルセンターである国立病院機構相模原病院臨床研究センター長を務めておりました。国内最多のアレルギー患者数の前任地において、日々全国から来院する成人難治アレルギー患者の診療と臨床研究を行っておりました。残念ながら、当院に赴任してすぐにコロナ禍になり、またアレルギー内科としては一人体制であったため、本格的な診療や研究業務が軌道に乗せることが困難な状況でありました。

代表者の谷口は、多くの難治アレルギー患者さんの診療経験と研究歴があり、重症喘息、長引く咳、NSAIDs 不耐症、EGPA、真菌喘息などに対して世界最高レベルの医療を提供できます。今までの臨床や臨床研究の経験を活かし、湘南鎌倉地区の患者さんにはもちろん、全国のアレルギー患者さんに貢献できるよう努力する所存です。そのためには鎌倉医師会をはじめとする地域の医師会の先生方との連携に始まり、神奈川県や国内の専門施設との共同診療/研究も欠かせないと思っております。今後、先生方のご指導をいただきながら、困っておられる患者さんを救うためにさ

らに努力したいと考えております。

2022年4月から国立病院機構相模原病院アレルギー科から渡井健太郎がアレルギー科部長として赴任してくれます。彼はまだ若いですが、多くの臨床経験があるだけでなく、現在急速増えている化学物質過敏症研究の国内リーダーの一人です。2人体制になり、地域の患者さんのための診療をより充実し、日本全国の難治患者さんが救え、かつ世界に貢献できる難治アレルギー、血管炎、コロナ後遺症などの新しい治療法開発や病態解明に取り組みたいと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。